



国内初の新型コロナウイルスの感染者が1月下旬に確認された奈良県では、観光客が減り続け、天然記念物「奈良のシカ」たちの様子にも異変が出ています。

国内初の新型コロナウイルス感染者が1月下旬に確認された奈良県では、観光客が減り続け、それに伴って天然記念物「奈良のシカ」たちの様子にも異変が出ています。遠出して、普段見かけない場所で目撃されることが増えており、専門家は「いつもの観光地でシカせんべいをもらえなくなったので、首をかしげながらさまよい歩いているのだろう」と気遣う。

観光客が激減した2月以来、奈良市民の間では、シカの行動範囲が広がっていることが話題になっている。日中はせいぜい奈良公園近辺で目にするのが普通だったが、人の足で20分前後、直線で約2キロも離れたJR奈良駅周辺にも出没するなど、市街地へ顔を出す機会が増えた。集団で闊歩し、ときには植え込みの草を食べ、ゴミ箱をあさる姿

エサなく… 奈良さまようシカない



も目撃されている。シカの生態に詳しい麻布大のちの博物館の高槻成

紀名尊子吉氏は「せんべいがもらえなくなった理由が分からず『麥たなあ、麥たなあ』と思いながら探しているのだと思つて分析する。日頃からシカを見守る愛護会の廣村好高事務局長は「主食は芝草などで、せんべいはおやつのようなもの。飢えているわけではない」と強調する。ただ、奈良公園周辺でせんべいが売られるようになったのは17世紀の江戸時代前期とも言われ、何代にもわたって培われた習慣が急になくなったということになる。高槻さんは「6月くらいになって、芝生が本格的に伸びれば、おなかいっぱいになり、せんべい探しは諦めるでしょう。とはいえ、人間で言えば、お米は十分あってもおかずはない状態ですけどね」と話した。

2020年5月13日付大分合同新聞 20面

① シカの行動範囲が広がったのはいつから？ どこに出没していますか？

2月から JR奈良駅周辺など市街地に出没している

② シカがさまよい歩いているのはなぜだと思いますか？

いつもの観光地でシカせんべいをもらえなくなったから

③ 見出しは「さまよう●●ない」です。●●に入る言葉を考えてみましょう。

シカ

④ 奈良のシカを主人公として、物語または4コマ漫画をつくってみましょう。